

2023年11月20日  
一般社団法人 日本加工食品卸協会

## 物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画

一般社団法人日本加工食品卸協会は、「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」を踏まえ、下記のとおり自主行動計画を定め、会員企業による物流の適正化・生産性向上に向けた取組みを推進するものとします。

### 記

1. 物流の適正化・生産性向上は、1業種1企業だけの対応で成果をあげることは困難であり、発着荷主間の連携・協力があって達成されるものとの前提に立ち、製配販3層で組織するフードサプライチェーン・サステナビリティプロジェクト(「FSP会議(\*1)」)において策定された「加工食品業界製配販行動指針(FSP版)」(別紙1)をもって当協会の自主行動計画とする。
2. 上記1に加え、荷待ち時間・荷役作業削減については、更に対応方針を明確にするため、当協会と食品物流未来推進会議(SBM会議)が取りまとめた「荷待ち・荷役作業削減に向けた加工食品業界の取組みガイドライン」(別紙2)の主旨に沿って行動するものとする。
3. 上記1及び2は今日時点での対応指針であり、今後の進捗の状況により、更なる適正化・生産性向上を目指して見直しを行っていくものとする。

以上

#### (\*1) 「FSP会議」所属団体

小売業：一般社団法人日本スーパーマーケット協会 (JSA)

一般社団法人全国スーパーマーケット協会 (NSAJ)

オール日本スーパーマーケット協会 (AJS)

卸売業：一般社団法人日本加工食品卸協会(NSK)

製造業：食品物流未来推進会議 (SBM 会議)

味の素、カゴメ、キッコーマン食品、キューピー

日清オイリオグループ、日清製粉ウェルナ、ハウス食品、Mizkan